

集中管理型バックアップソフト



集中管理型バックアップソフト



製品説明 Ver 1.0

Secure Back® Cloud Azure 動作要件		Secure Back® Client for PC = PC用クライアントソフトウェア Secure Back® Client for Server = サーバ用クライアントソフトウェア
■ Secure Back® Client for PC	オペレーティングシステム	Windows 8.1 各エディション (32ビット/64ビット、日本語版のみ)
	CPU	Intel、AMD または互換プロセッサ
	メモリ	4GB以上のRAM ※お使いのOSやソフトウェアによって必要なメモリは異なります。
	ストレージの空き容量	インストールに30MB以上の空き容量 ログ領域に100MB以上を推奨 メールバックアップ時は、メールデータと同容量のテンポラリ領域が必要となります。 ※メーラによってはテンポラリ領域を使用しません。
	その他	Secure Back Manager 搭載サーバーに接続できること (通信ポートは「Secure Back Manager / Secure Back Enterprise Manager」を参照) ストアアプリ版 Outlook には対応しておりません。
■ Secure Back® Client for Server	オペレーティングシステム	Windows Server 2012 Standard (32ビット/64ビット、日本語版のみ) Windows Server 2012 R2 Standard Windows Storage Server 2012 Workgroup / Standard Windows Storage Server 2012 R2 Workgroup / Standard Windows Server 2016 Standard Windows Storage Server 2016 Workgroup / Standard Windows Server 2019 Standard / Datacenter
	CPU	Intel、AMD または互換プロセッサ
	メモリ	4GB以上のRAM ※お使いのOSやソフトウェアによって必要なメモリは異なります。
	ストレージの空き容量	インストールに30MB以上の空き容量 ログ領域に100MB以上を推奨
	その他	Secure Back Manager 搭載サーバーに接続できること (通信ポートは「Secure Back Manager / Secure Back Enterprise Manager」を参照)

■ 仮想化環境について

本製品はOS上で動作するソフトであるため、仮想化環境でも動作いたします。
なお、仮想化環境の特性上、お客様の環境によってはパフォーマンスに影響を
与える可能性もございます。あらかじめご了承ください。

※ 動作要件は予告なく変更される場合がございます。

※ 動作要件の最新情報はアップデータのWebページにてご確認ください。

※ 掲載している画面はすべて開発中のものです。

※ Secure Backはアップデータの登録商標です。

※ その他、記載された会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。



アップデータ株式会社

〒101-0045 東京都千代田区神田鍛冶町3-5-8 KDX神田北口ビル 7F
TEL 03-6853-7800 FAX 03-6853-7801
www.updata.co.jp

お問い合わせ・ご用命は



アップデータ株式会社は、
情報セキュリティマネジメントシステム (ISMS) の
国際規格「ISO/IEC 27001:2013」
国内規格「JIS Q 27001:2014」取得企業です。

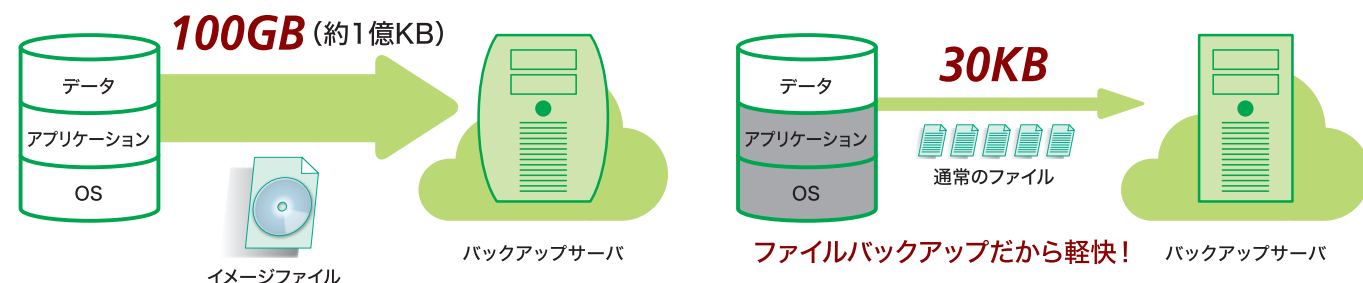
SBCA2010

対応 Windows 10 Windows Server 2019

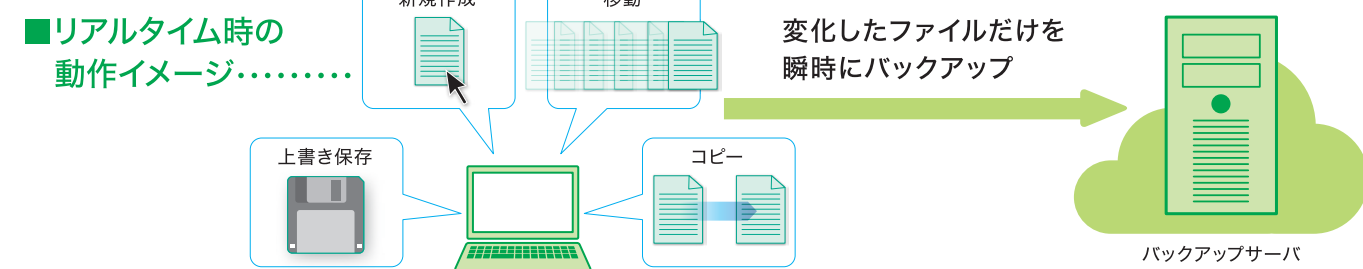
意識せず軽快に使えるデータバックアップソフト

ファイルバックアップ 瞬時にバックアップを終わらせコンピュータに大きな負荷をかけません

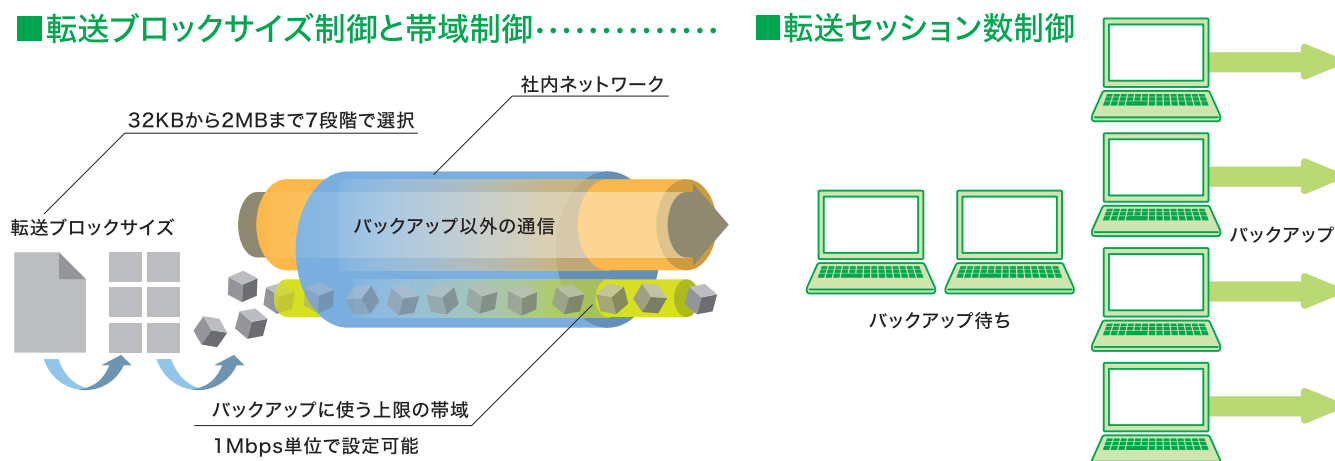
■イメージバックアップの場合..... ■ファイルバックアップなら.....



5種類のバックアップタイミング バックアップ元ごとに最適なバックアップタイミングを選べます

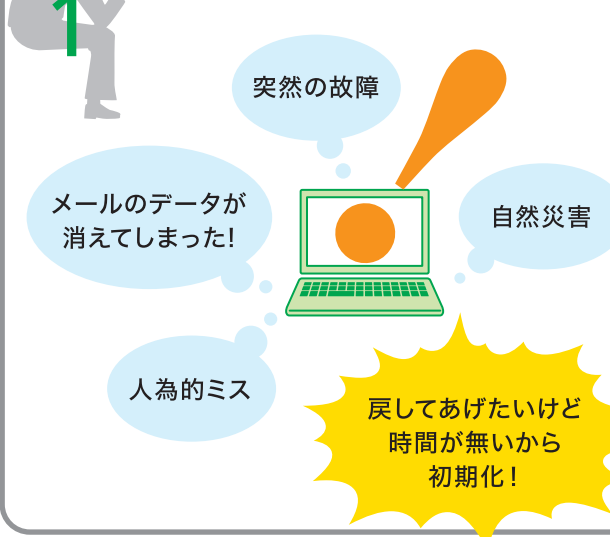


ネットワーク制御 バックアップによるネットワーク負荷をコントロールします

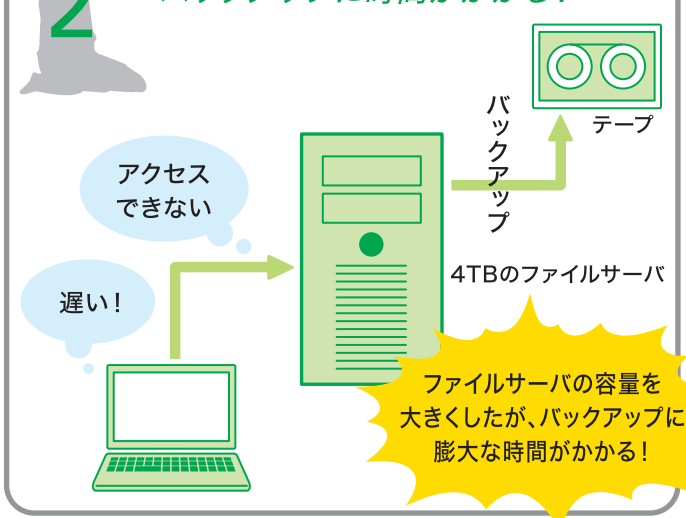


こんなシーンで活躍

CASE 1 PCのバックアップをしていない!



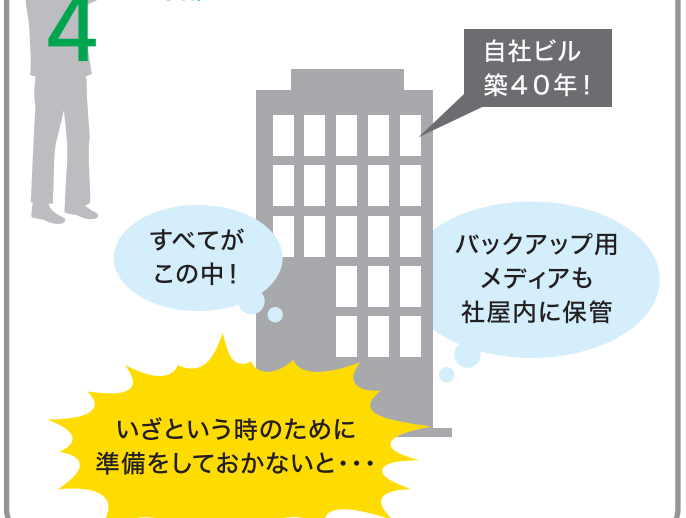
CASE 2 ファイルサーバのバックアップに時間がかかる!



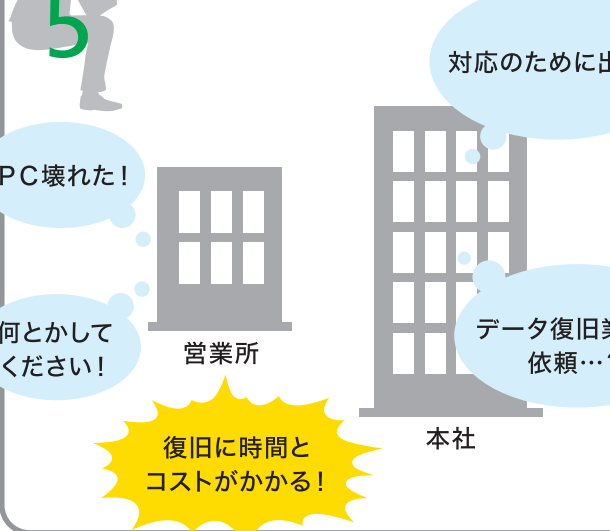
CASE 3 PCの入れ替えが大変!



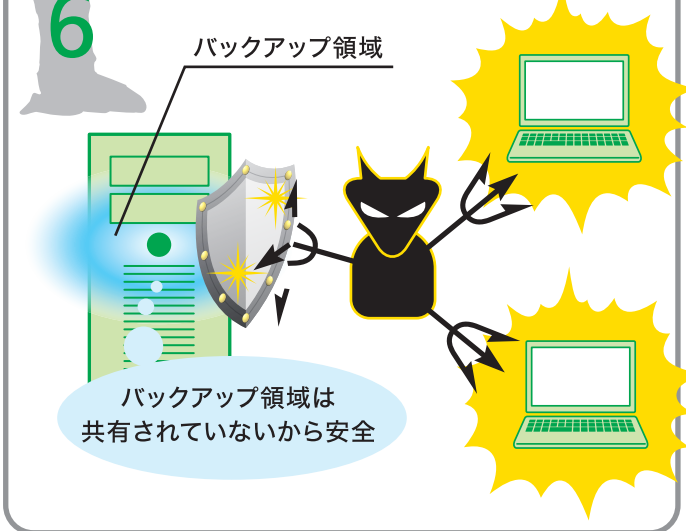
CASE 4 外部にもバックアップしたい!



CASE 5 拠点PCのトラブル対応



CASE 6 ランサムウェア対策



Secure Back[®]のシステム構成

すべてのバックアップ設定は管理者が行い、クライアントはその設定に従って自動的に動作します。

オンプレミスからクラウドまで、幅広いバックアップを実現。
複数のオンプレミス環境の統合も可能です。

Azure

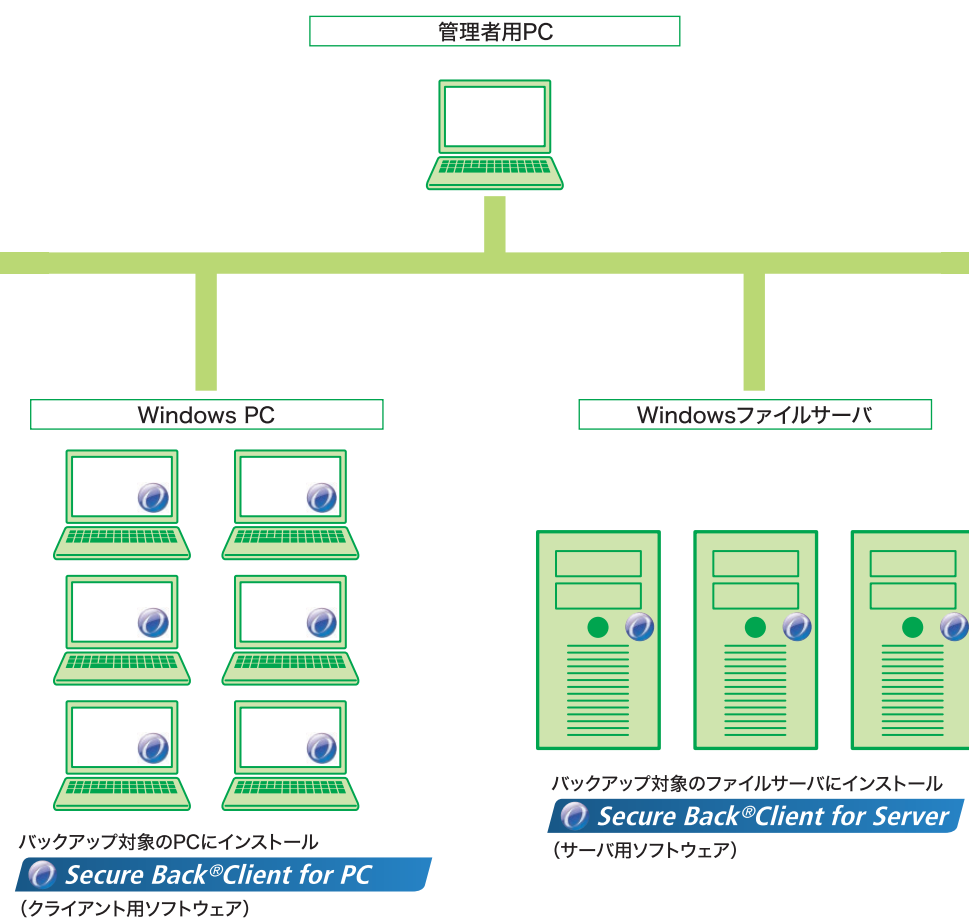
バックアップサーバ(Windowsサーバ)

バックアップサーバにインストール
Secure Back[®]Manager
(管理用ソフトウェア)

本社

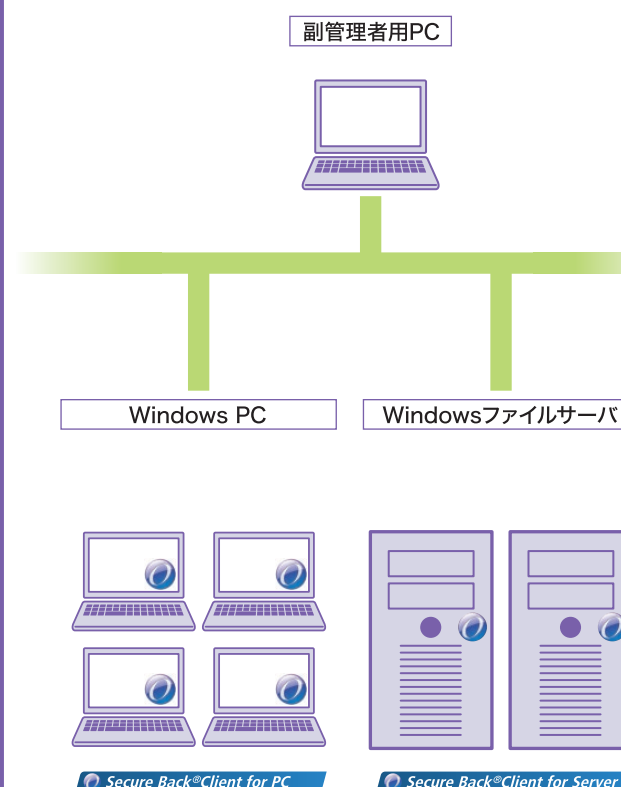
管理者のPCからSecure Back[®]Managerの
直接操作が可能です

ブラウザから <http://{バックアップサーバIPアドレス}/> にアクセス



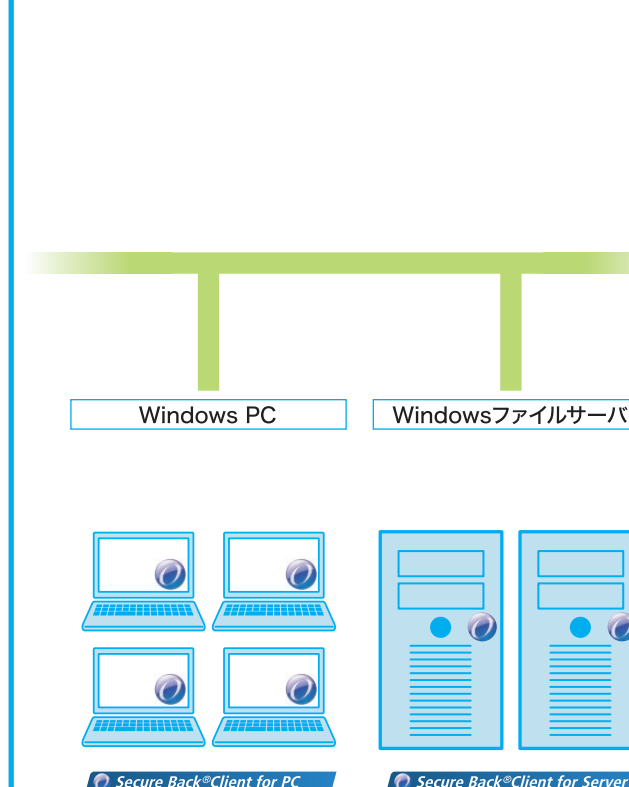
支社

権限を限定して
副管理者を指定できます



営業所

適任者がいなければ
ネットワーク経由で管理できます



Secure Back®Manager ユーザ管理画面

わかりやすい管理画面で導入もスムーズ

ユーザ設定

Secure Back Manager ユーザ管理画面のスクリーンショット。左側にはグループ管理メニューがあり、右側にはユーザ設定の詳細が表示されています。ユーザ設定には、ユーザ名、パスワード、動作モード、上限領域、使用領域、上限速度などが設定できます。また、バックアップ設定のタブがあり、必須設定、オプション設定、一括設定が可能です。

バックアップ設定は全体でもグループ単位でも個人単位でも設定可能

バックアップ容量の上限値を設定

転送速度の上限値を設定

ユーザをインポート

Secure Back Manager のインポート/エクスポート画面のスクリーンショット。インポート機能を使って、大量のユーザ登録作業を一括で行うことができます。

暗号・圧縮などの選択

Secure Back Manager のバックアップ設定画面のスクリーンショット。暗号化と圧縮のオプションが選択されています。

暗号化／圧縮の選択

暗号・非暗号、圧縮・無圧縮をユーザごとに切り替えられます。圧縮機能を使用するとバックアップデータの容量を大幅に削減することが可能です。

大量のユーザ登録作業もインポート機能で一括登録

テンプレートを使ってインポートすれば面倒な初回のユーザ登録が一度で完了します。

Secure Back®Manager バックアップ設定画面

チェックを入れるだけの簡単設定

PCクライアント用設定画面

Secure Back Manager のPCクライアント用バックアップ設定画面のスクリーンショット。5種類のバックアップ方式から選択でき、各項目のチェックボックスと設定値が確認できます。

メールのバックアップに完全対応
メールクライアントを立ち上げたまま
まで全自動でバックアップします。

バックアップされるデータ

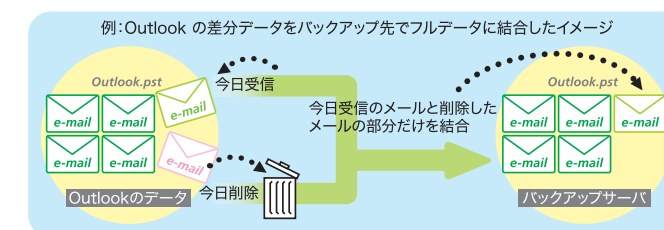
- ・メッセージデータ
- ・アドレス帳
- ・メッセージルール
- ・添付ファイル
- ・迷惑メールフィルタ
- ・ごみ箱
- ・アカウント情報
(※パスワードはバックアップされません)

任意のフォルダは
最大50個設定可能

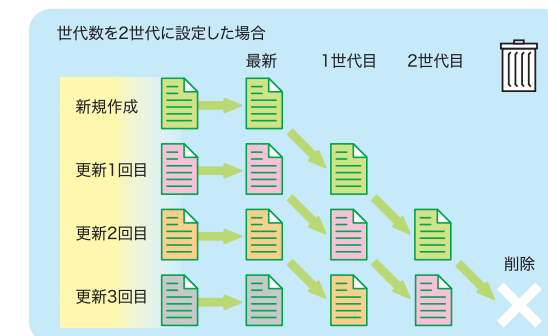
バイナリ差分と差分結合

メールデータが1ファイルに集約されるOutlook、Outlook Express、Thunderbirdでは、変化したバイナリの差分のみを転送し、バックアップ先でフルデータと結合する独自の差分バックアップ方式*を採用しています。転送量を最小限にすることでネットワークにかかる負荷を抑えています。

※PC側にテンポラリ領域としてバックアップ対象データと同じ空き容量が必要です。



1回の更新につき1世代保存するので、大切なデータを間違えて上書きしてしまった場合でも最大「99回前に保存したデータ」まで遡って復旧することができます。



Secure Back®の多彩な機能

充実した機能が様々なシーンで運用を助けます

自動アップデート

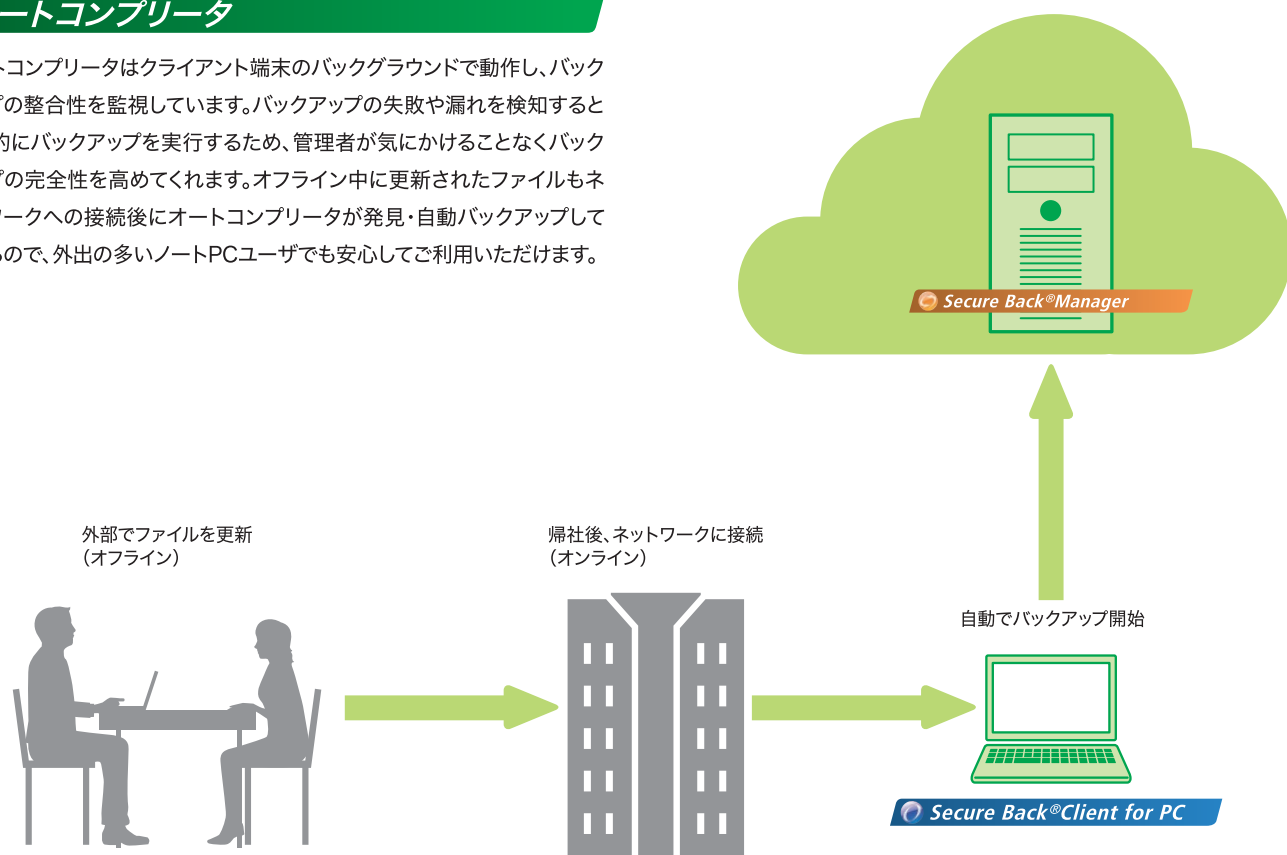
Secure Back®の保守に加入していれば、常にSecure Back®を最新の状態でご利用いただけます。最新版の提供が開始されるとSecure

Back®Managerにアップデートボタンが現れ、クリックするとクライアントを含め自動的にアップデートが実施されます。



オートコンプリータ

オートコンプリータはクライアント端末のバックグラウンドで動作し、バックアップの整合性を監視しています。バックアップの失敗や漏れを検知すると自動的にバックアップを実行するため、管理者が気にかかることなくバックアップの完全性を高めてくれます。オフライン中に更新されたファイルもネットワークへの接続後にオートコンプリータが発見・自動バックアップしてくれるので、外出の多いノートPCユーザでも安心してご利用いただけます。



バックアップサーバの管理

バックアップサーバの容量や各種ログなどを管理できます。また遠隔からシャットダウンすることが可能です。

ディスク管理画面

福島の使用状況

ログインID	上段領域	使用領域	空き領域
福島	30.0 GB	997 MB	29.0 GB

バックアップ元	使用領域
マイドキュメント	382 MB
デスクトップ	455 MB
Outlook	544 KB
任意のバックアップ元	158 MB
Thunderbird	1.05 MB

バックアップ先ディスクの容量確認

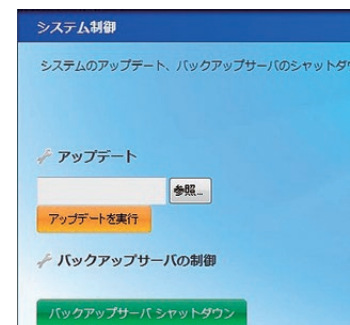
ログ管理画面

操作画面	日時	IPアドレス	操作対象	内容
リストア	2013-10-20 18:57:19	192.168.10.104	福島	リストアログ ログを確認
リストア	2013-10-20 18:53:49	192.168.10.104	福島	リストアログ ログを確認
リストア	2013-10-20 18:51:46	192.168.10.104	福島	リストアログ ログを確認
管理者	2013-10-20 18:50:22	172.19.127.80		ログイン
バックアップ設定	2013-10-20 16:51:58	192.168.10.104	管理本部	バックアップ設定の更新:グループ
バックアップ設定	2013-10-20 16:51:37	192.168.10.104	管理本部	バックアップ設定の更新:グループ
ユーザ管理	2013-10-20 16:39:33	192.168.10.104	五十嵐	ユーザ設定の更新

バックアップ、メンテナンス、オペレーション、アップデートのログを確認可能

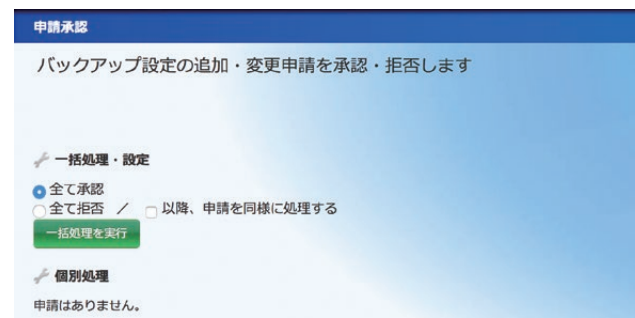
サーバ・シャットダウン機能

Secure Back®Managerにログインし、ワンクリックでシャットダウンが可能



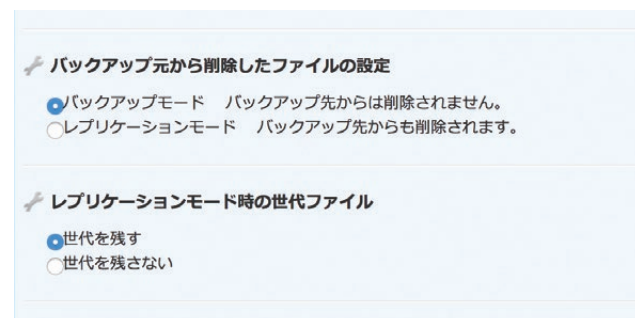
バックアップ設定申請

バックアップ設定を、クライアントが管理者に申請する機能です。管理者は承認ボタンをクリックするだけで、申請内容が自動的に反映されます。また、申請機能は管理者側の設定でOFFにすることも可能です。



レプリケーションモード

バックアップ元で削除したデータがバックアップ先でも削除される「レプリケーションモード」に切り替えての使用も可能です。バックアップサーバを効率的に使うことができます。



制限付き管理者

管理者権限を機能・設定項目別に、新たな管理者に付与する機能です。機能の特権や、グループの特権を振り分けることで円滑なシステム運用が可能になります。

機能の特権
☐ ユーザ管理
☐ バックアップ設定
☐ ディスク管理
☐ ログ管理
☐ システム管理

付与できる権限

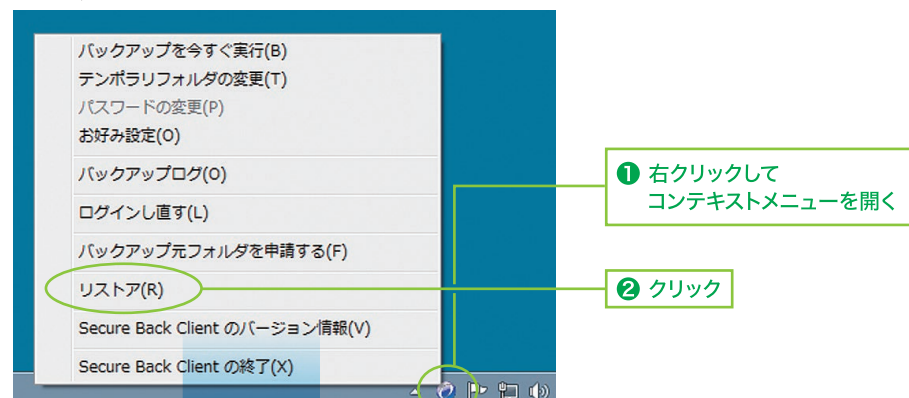
簡単、確実なリストア

ケアレスミスも、重大な故障時も、消失したデータを即座に復旧

PCから起動できるリストア

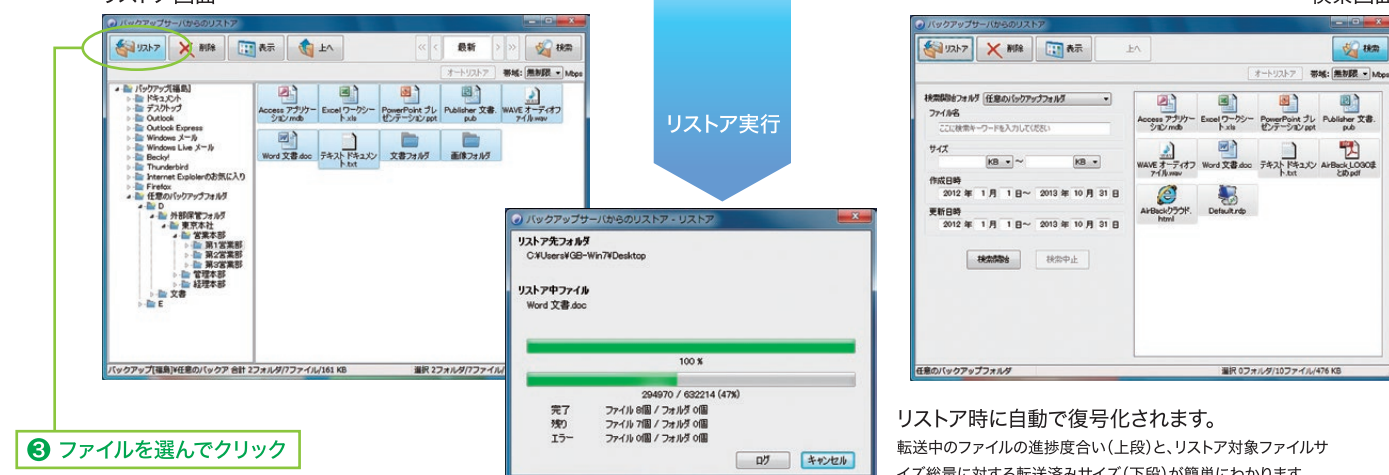
管理者に依頼することなく一般ユーザが自分自身で実行できるので、うっかり消してしまったデータをユーザ自身ですぐに復旧が可能です。もちろん管理者なら、すべてのバックアップデータをリストア可能です。また、ファイルの検索機能も備えているので、必要なファイルを簡単に探し出すことができます。

コンテキストメニュー



リストア画面

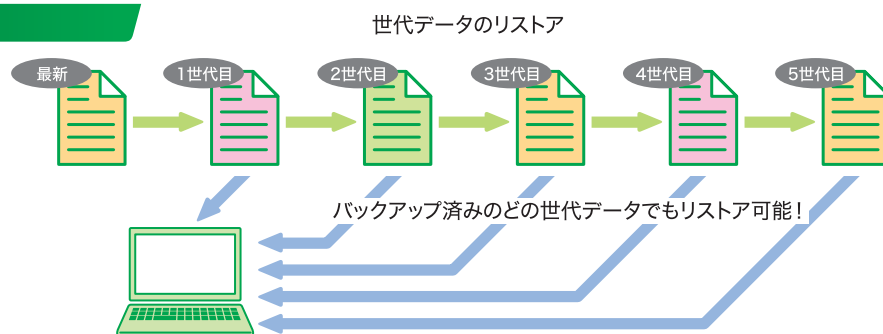
検索画面



リストア時に自動で復号化されます。
転送中のファイルの進捗度合い(上段)と、リストア対象ファイルサイズ総量に対する転送済みサイズ(下段)が簡単にわかります。

世代ファイルからのリストア

貴重なデータを誤って修正してしまい、元に戻さなければならなかった場合でもSecure Back®なら、設定した世代数まで更新前のデータをいつでもリストア可能です。



オートリストア

すでにバックアップ済みのデータを、新しい環境にすべて自動でリストアする機能です。たとえば、マイドキュメントのデータは新環境のマイドキュメントに自動でリストアされ、PC入れ替え時のデータ移行を、手間をかけずに全自動で実施できます。



以前にバックアップしたデータを元あった場所に自動復旧します。
PCがクラッシュしてもOSとSecure Back®Clientのインストールが終了すれば自動的にデータが復旧されます。

Secure Back®の活用例

既存ユーザ様の上手な活用例をご紹介します

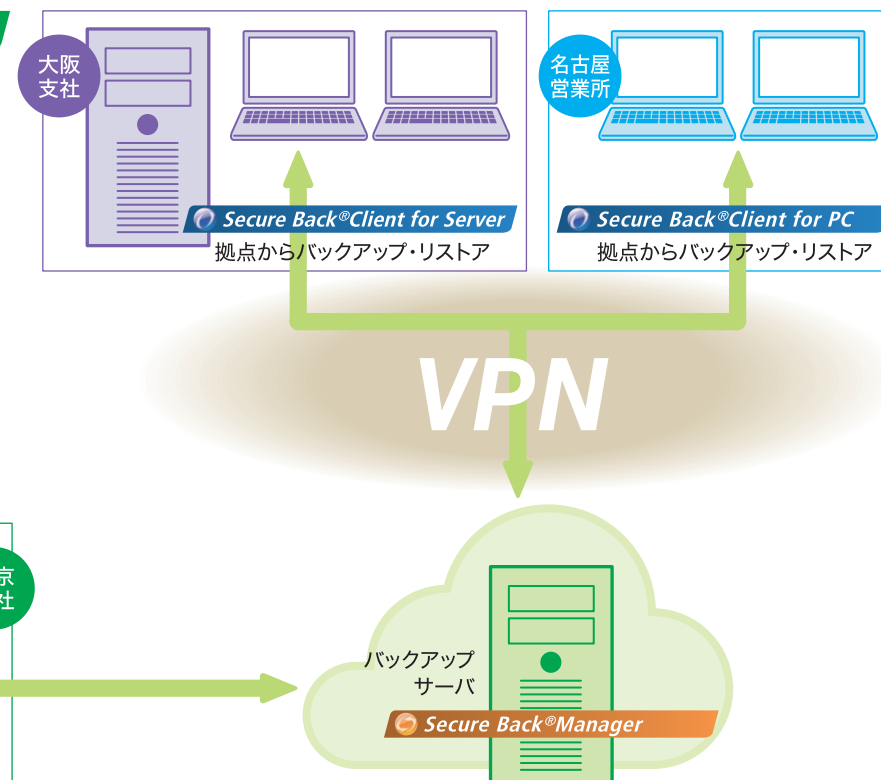
WAN(VPN)経由のバックアップ

活用する機能

上限帯域制御
同時転送セッション数制御
転送ブロックサイズ制御

- 離れた拠点のバックアップが可能
- 離れた拠点でリストアが可能

※ただし各拠点間を結ぶネットワークにVPN網が構築されている必要があります。

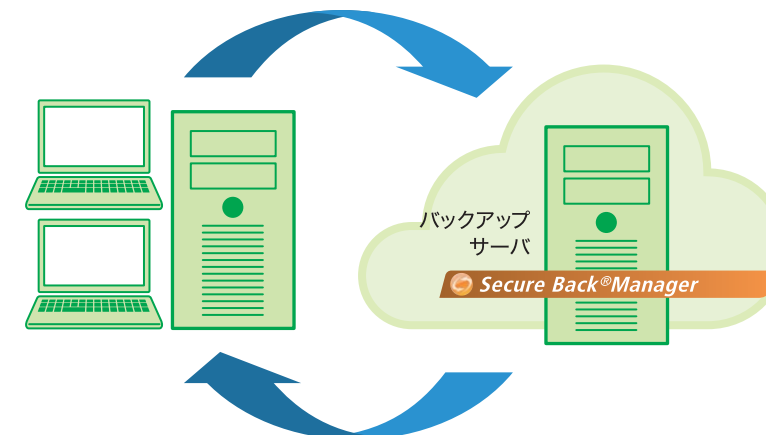


DR・災害対策

活用する機能

バックアップデータの複製
上限帯域制御
転送ブロックサイズ制御

- バックアップデータはクラウドへ退避
- 万一の災害対策として万全の備え

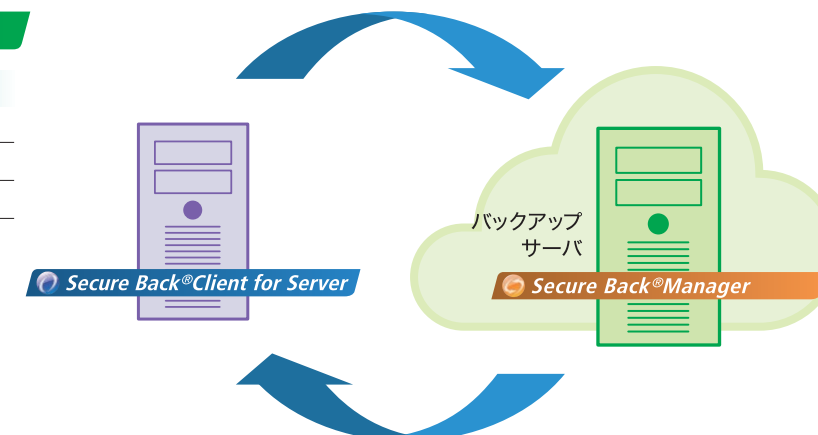


容量に合わせた柔軟な拡張が可能

活用する機能

マルチドライブ
レプリケーションモード
専用エクスポート/インポートツール

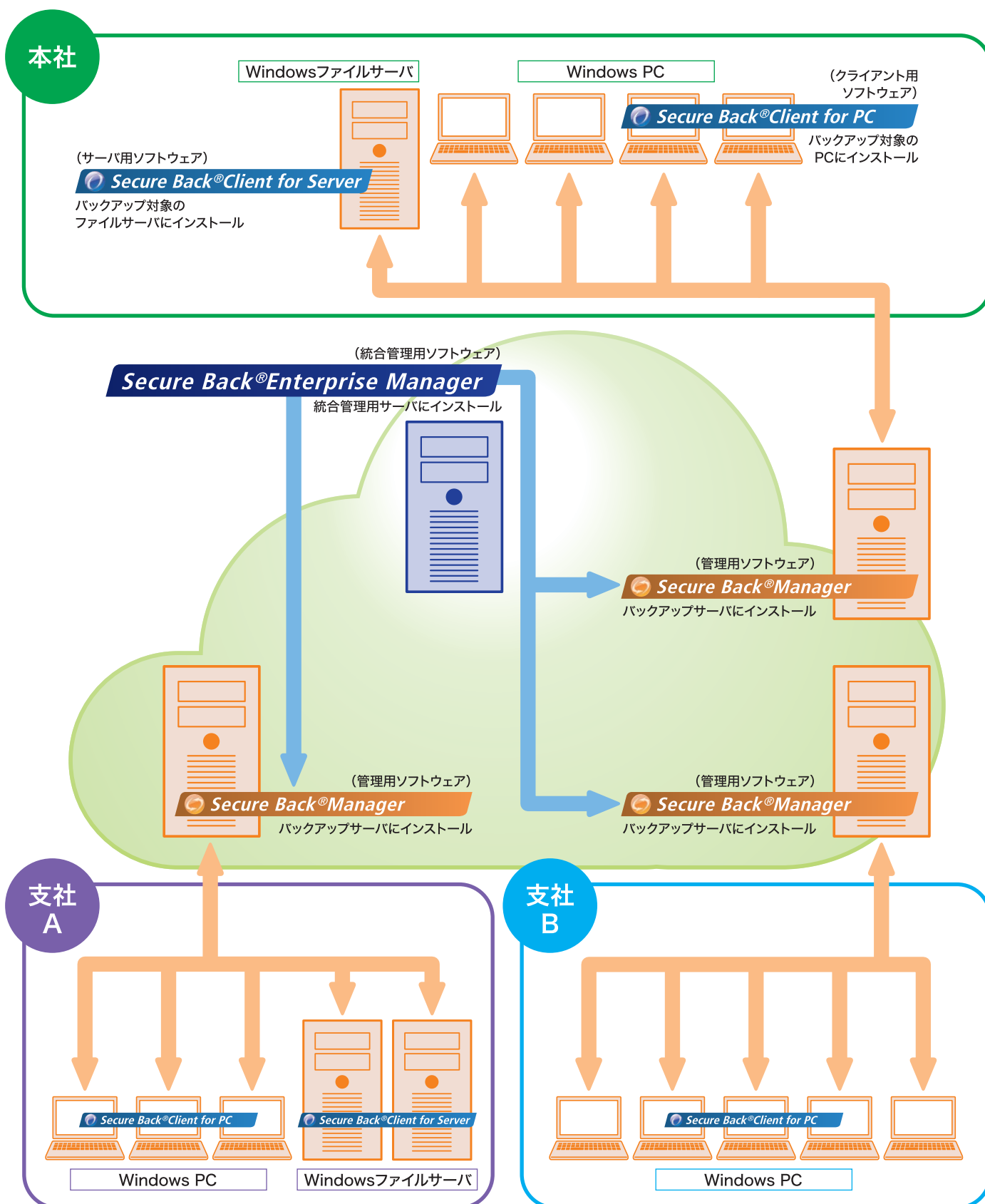
- サーバ容量を効率的に使用可能
- ローカルデバイス経由で初回フルバックアップ時間を短縮



Secure Back®Enterprise Manager

統合管理用ソフトウェア

Secure Back®Enterprise Managerは、複数のSecure Back®を統合管理するためのソフトウェアです。全システムの稼働状況を直感的に管理できるほか、拠点別の帯域制御やシステム間のユーザ移動、ライセンスの振分けなど、大規模に展開したSecure Back®を効果的にご利用いただくための様々な機能を備えています。



大規模層のお客様にお勧めしたいライセンスです。

複数システムのバックアップを統合的に管理し、運用管理の充実とTCO(総所有コスト)の削減に役立ちます。

拠点別に帯域制御が可能に

高速なブロードバンド回線が用意できない拠点からWANを経由してバックアップを取る際に、ユーザ単位ではなく拠点単位で「上限帯域」や「セッション数」を設定することができます。



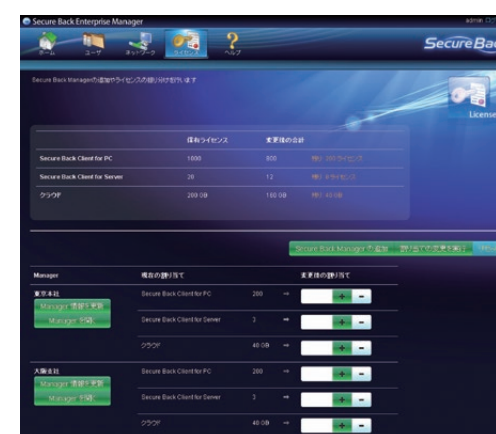
システム間のユーザ移動もラクラク

人事異動などでシステムをまたぐユーザの移動が発生した際でも、管理者がSecure Back®Enterprise Managerの画面上で操作すれば、各システムに対し変更が自動処理されます。



各システムにライセンスの振分けが可能

所有するライセンスを各システムにいつでも振分けができます。クライアントライセンスだけでなくクラウド容量も振分け可能なので、購入したライセンスを最大限活用することができます。

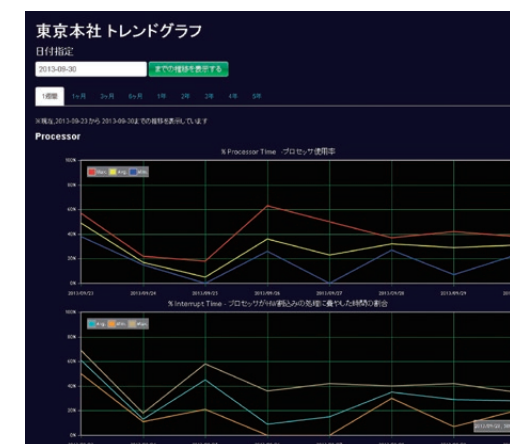


各システムのステータスを直感的に把握

各システムが正常に稼働しているかやディスク容量が足りているかなど、各システムのステータスが画面で管理できます。プロセッサ、メモリ、ディスク、ネットワークなどのトレンドグラフから、各システムの稼働状況を正確に読み取ることができます。



ホーム画面

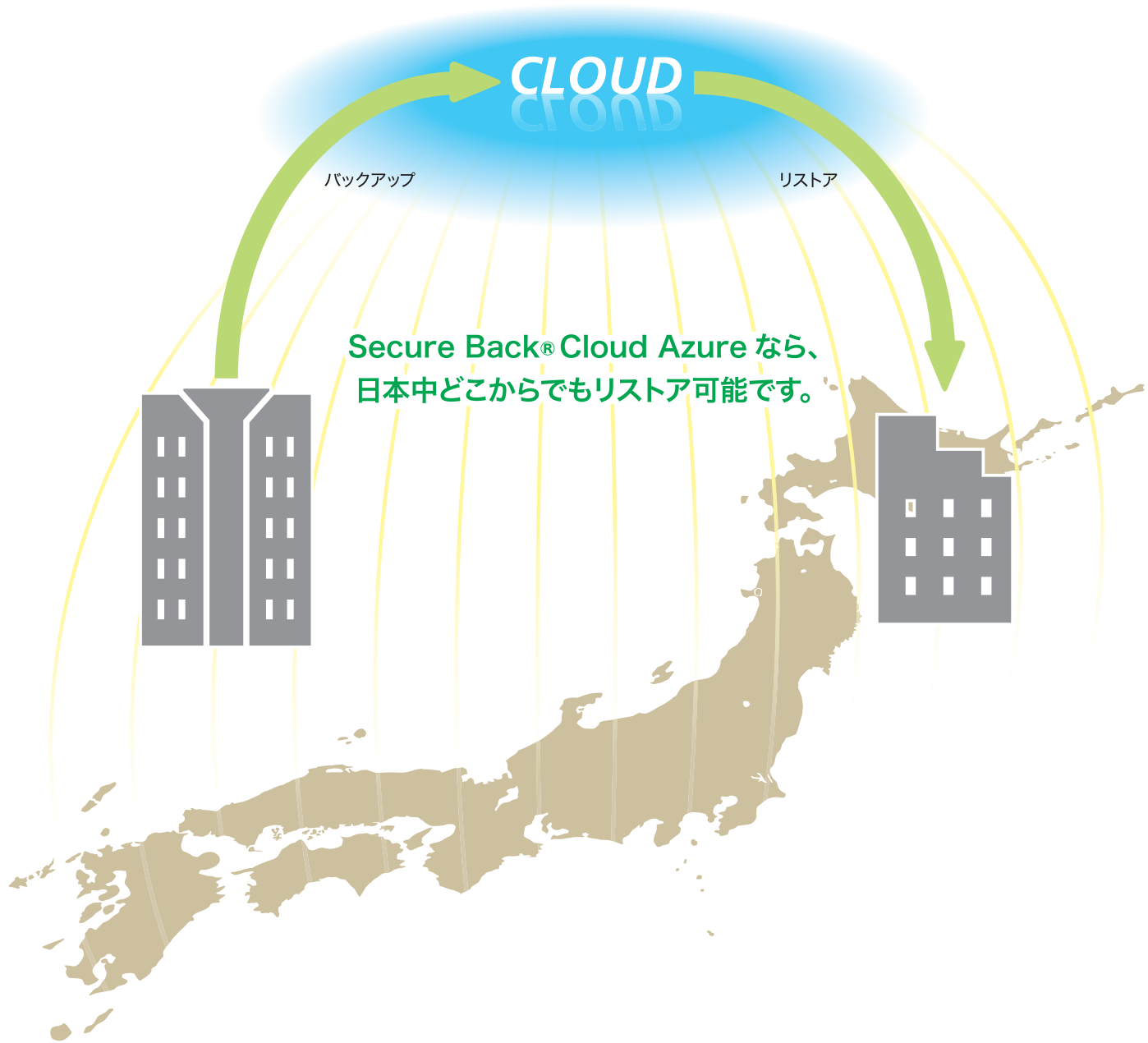


トレンドグラフ



ディスク使用量グラフ

クラウド容量追加



国内複数iDCを利用、距離間は数百km以上

Secure Back®で暗号化されたデータは、お客様環境のバックアップサーバからソフトウェアVPNによって暗号化された経路を通り、複数の国内クラウド環境へバックアップされます。クラウド間は数百km以上離れており自然災害などで同時にデータを消失することは事実上ないと言って過言ではありません。また、法人企業での利用を考慮して、Secure Back®で使う全てのクラウドは国内に存在し、バックアップデータが国外に出ていくことは一切ありません。一般的なパブリッククラウドをバックグラウンドに使用していないSecure Back®のために用意された専用クラウド環境なので、セキュリティポリシーの高い企業でも安心してご利用いただけます。

故障時でも災害時でも確実にリストア

Secure Back®クラウドオプションを購入すれば、アップデータが提供する専用クラウド環境を外部保管場所として利用できます。クライアント端末が故障した場合はまずバックアップサーバからリストア。仮にバックアップサーバが故障してもクラウドからリストアできます。万一の災害時には支社などの遠隔地からクラウドへ直接接続してリストアが可能になります。

サブスクリプションサービス一覧

月額サブスクリプション

製品名称		型番	定価/月	
Secure Back Cloud Azure for PC		SB4CAPCMS	¥	1,000
Secure Back Cloud Azure for Server		SB4CASVMS	¥	6,000
仮想サーバー	Standard 2CPU, 8GB, 50GB	SB4AZSSMS	¥	57,000
	Premium 8CPU, 32GB, 200GB	SB4AZSPMS	¥	114,000
仮想サーバーストレージ	1TB	SB4AZC1TBM	¥	9,500
	4TB	SB4AZC4TBM	¥	38,000
	8TB	SB4AZC8TBM	¥	74,000
	16TB	SB4AZC16TBM	¥	150,000

※お申込みには別途申請書が必要です。

年額サブスクリプション

製品名称		型番	定価/年	
Secure Back Cloud Azure for PC		SB4CAPCYS	¥	12,000
Secure Back Cloud Azure for Server		SB4CASVYS	¥	72,000
仮想サーバー	Standard 2CPU, 8GB, 50GB	SB4AZSSYS	¥	684,000
	Premium 8CPU, 32GB, 200GB	SB4AZSPYS	¥	1,368,000
仮想サーバーストレージ	1TB	SB4AZC1TBY	¥	114,000
	4TB	SB4AZC4TBY	¥	456,000
	8TB	SB4AZC8TBY	¥	888,000
	16TB	SB4AZC16TBY	¥	1800,000

※お申込みには別途申請書が必要です。

1年ライセンス

製品名称		型番	定価	
Secure Back Cloud Azure for PC		SB4CAPC1Y	¥	12,000
Secure Back Cloud Azure for Server		SB4CASV1Y	¥	72,000
仮想サーバー	Standard 2CPU, 8GB, 50GB	SB4AZSS1Y	¥	684,000
	Premium 8CPU, 32GB, 200GB	SB4AZPS1Y	¥	1,368,000
仮想サーバーストレージ	1TB	SB4AZC1TB1Y	¥	114,000
	4TB	SB4AZC4TB1Y	¥	456,000
	8TB	SB4AZC8TB1Y	¥	888,000
	16TB	SB4AZC16TB1Y	¥	1800,000

※お申込みには別途申請書が必要です。

5年ライセンス

製品名称		型番	定価	
Secure Back Cloud Azure for PC		SB4CAPC5Y	¥	60,000
Secure Back Cloud Azure for Server		SB4CASV5Y	¥	360,000
仮想サーバー	Standard 2CPU, 8GB, 50GB	SB4AZSS5Y	¥	3,420,000
	Premium 8CPU, 32GB, 200GB	SB4AZPS5Y	¥	6,840,000
仮想サーバーストレージ	1TB	SB4AZC1TB5Y	¥	570,000
	4TB	SB4AZC4TB5Y	¥	2,280,000
	8TB	SB4AZC8TB5Y	¥	4,440,000
	16TB	SB4AZC16TB5Y	¥	9,000,000

※お申込みには別途申請書が必要です。

■ ご契約について

お申込み後、ご利用開始された月は無料となり、翌月1日から費用が発生します。
ご契約期間は1か月単位となります。
ご解約の期限は1か月前となりますので、ご解約されたい月の前月の月末までにお申し込み下さい。
ご解約のお申し出がない限り自動で更新されますので、予めご了承のほど宜しくお願い致します。

■ サポートについて

ご契約期間中は、オンラインサポートをご利用頂けます。
ご解約の期限は1か月前となります。ご解約される月の前月の月末までにお申し込み下さい。
ご解約のお申し出がない限り自動で更新されます。